

小さな命を守るセーフティネット社会を！

ごあいさつ 「お腹の赤ちゃんも私たちの大切な仲間」との思いで平成19年秋、私たちは円ブリオかごしまを発足しました。一〇一円の「円ブリオ基金」をはじめ、お腹の赤ちゃんとお母さんを支援する活動に取り組み、2年間で8人の赤ちゃんの誕生に関わらせて頂くことができました。

昨年11月、1週間のSOS妊娠葛藤電話相談を実施し、12件もの相談が寄せられました。その中には、どこに相談していいのかわからない、誰にも相談できない等、深刻な悩みも多く、孤独な中で、一人悩みを抱える人の多さを痛感させられました。新しい命を宿した妊婦さんに寄り添い、悩みや喜びをわかちあう相談のセーフティネットがあったら・・・と思えてなりません。

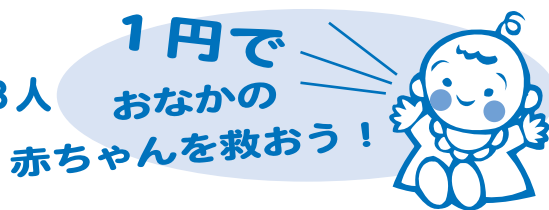
そこで今年は、映画監督の千葉茂樹氏を招き講演会を開催します。千葉監督はマザーテレサの生き方に衝撃を受け、日本で初めてマザーの映画を製作した方です。

折しも、今年はマザーテレサ生誕百年。マザーテレサは、最大の不幸は「誰からも必要とされていない存在」つまり見捨てられた存在が人間にとって最大の不幸だと言っています。

まだ生まれ来ぬ命も含め、すべての命をいとおしみ、愛し続けたマザーの姿を通し、「家庭で、社会でできる愛の実践とは何か」を共に考える講演会にしたいと思えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



みなさまからの
円ブリオ基金のサポートで
鹿児島生まれの円ブリオ baby が2年間で8人



ひと〇1円 円ブリオ基金

EMBRYO
エンブリオとは3ヶ月までの胎児のことです。円ブリオ基金は国民の皆様から「ひと〇1円」の基金を戴き、お腹の赤ちゃんとお産みたい女性を支援する「いのちの支え合い」運動です。

円ブリオ基金箱がどこにでもある町づくり

一人がポンと一億円を出すより
一億の人が1円を出して、赤ちゃんの命を
救う国民的基金を実現しよう



相談で救える命があります

0120-708-852

(平日 10時～17時 常設)

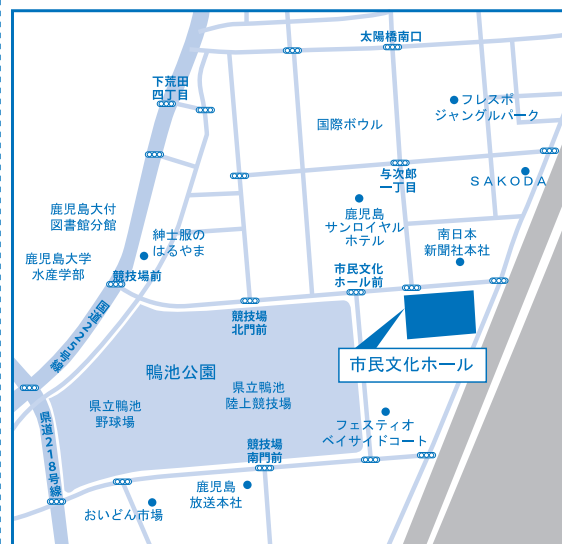
ほっとラインは、思わぬ妊娠に驚き、ひとりで葛藤する女性のための匿名電話相談です。

いのちの会のメンバーが窓口となり、それぞれの専門の相談員が支援にあたります。



キリトリ線

◆会場案内図



JR ご利用の方
[鹿児島中央駅]→タクシー 15分→[市民文化ホール]
バスご利用の方
鹿児島市営バス
16番 鴨池港・文化ホール線
16番-2 鴨池港・文化ホール線
27番 県庁・与次郎線

講演会チケット申込書

(FAXの方は切り取らずに送信して下さい。)

お名前	※託児希望 (有・無)	チケット (大人)	枚
ご住所	TEL	チケット (学生)	枚

講演会チケットご希望の方は、下記の申込先までFAX又はご連絡下さい。申し込みいただき次第、講演会チケットをお送り致します。
※チケットは、山形屋・十字屋クロス・鹿児島市民文化ホールでもお求めになれます。

【お問合せ】 TEL 099-206-7469 (山口) FAX 099-285-6667 (徳田)